2026年10月16日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,420万kW
13時30分、104,205 MW（10エリア同時刻合計）

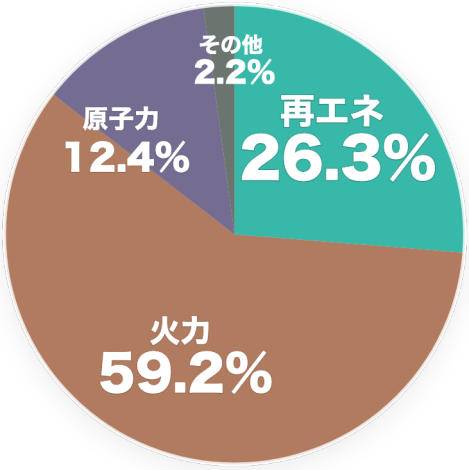
☀ 太陽光ピーク
4,699万kW
11時、46,992 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
281万kW
21時、2,809 MW

◇ 再エネ最大需要比
55.1%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
77.9 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
68.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 49.3%

39.0 GWh

出力抑制量

2.1 GWh

最大: 東北 2.1 GWh

揚水・蓄電の充電

40.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に3,464万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで49.3%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**26.3%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**564 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,149 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**55.1%**	11時
出力抑制量	**2.1 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**40.3 GWh**	発電構成比には含めない

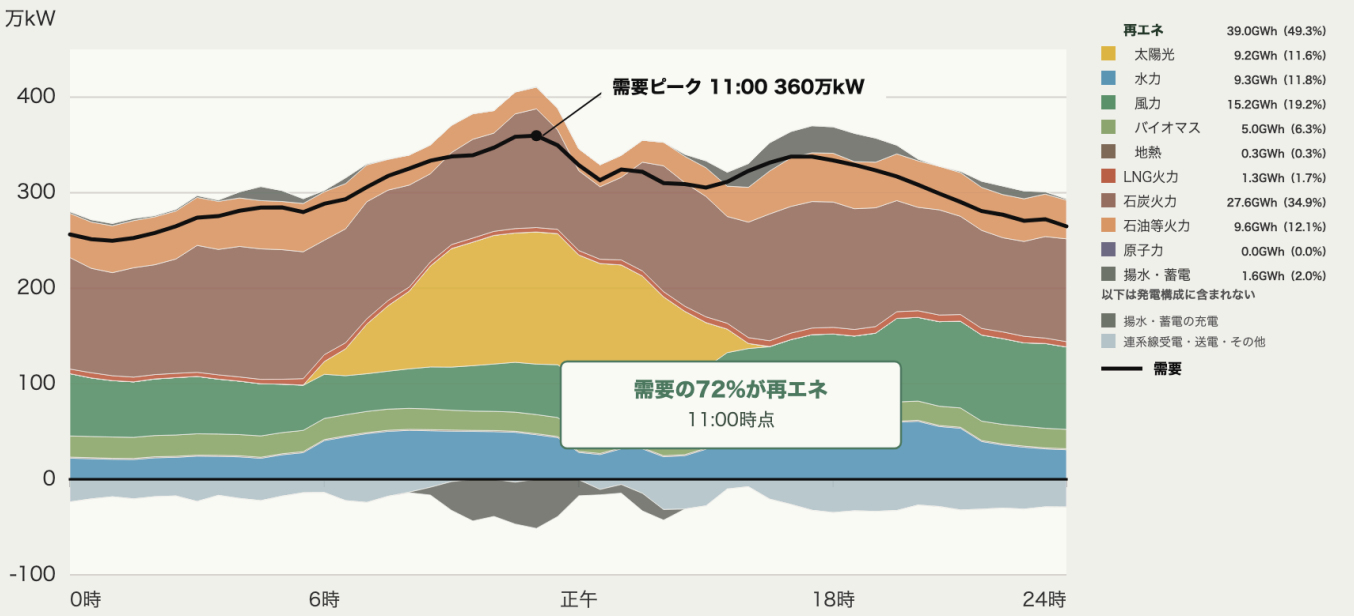
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**49.3%**	**39.0**	**0.0**	**送電 4.6**
東北	**40.1%**	**107**	**2.1**	**送電 68.6**
東京	**20.9%**	**129**	**0.0**	**受電 77.9**
中部	**33.9%**	**97.5**	**0.0**	**受電 50.4**
北陸	**27.4%**	**19.9**	**0.0**	**送電 5.8**
関西	**18.0%**	**58.1**	**0.0**	**受電 20.1**
中国	**18.6%**	**29.2**	**0.0**	**送電 8.7**
四国	**22.8%**	**21.1**	**0.0**	**送電 31.8**
九州	**26.5%**	**60.1**	**0.0**	**送電 10.2**
沖縄	**13.0%**	**3.2**	**0.0**	—

2026年10月16日の供給実績

北海道エリア

再エネ
39.0GWh
（発電電力量ベース49.3%）

北海道エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.2GWh

需要ピーク
11:00、360万kW

連系線・その他
4.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

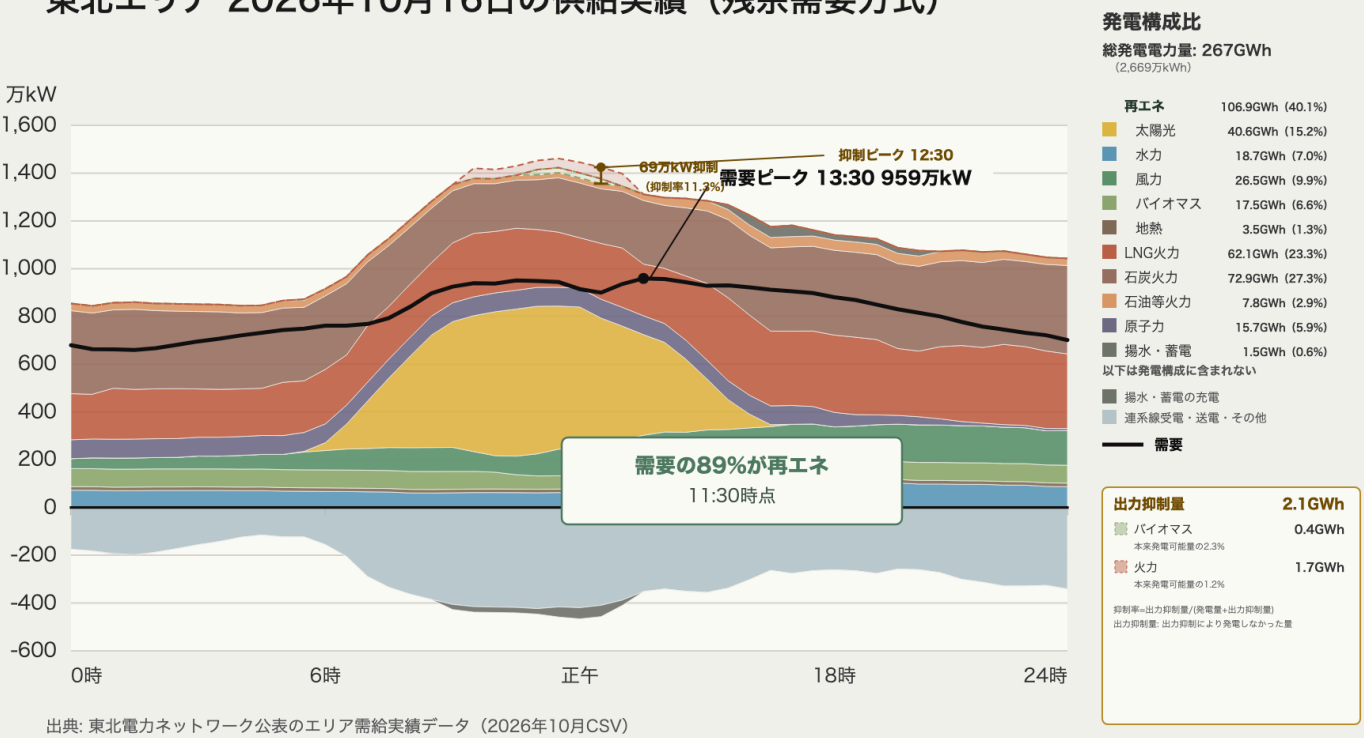
北海道は、太陽光ピーク138万kW、風力ピーク91万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.6%だった。

2026年10月16日の供給実績

東北エリア

再エネ
106.9GWh
（発電電力量ベース40.1%）

東北エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
266.9GWh

需要ピーク
13:30、959万kW

連系線・その他
68.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.4GWh

出力抑制
2.1GWh

概況

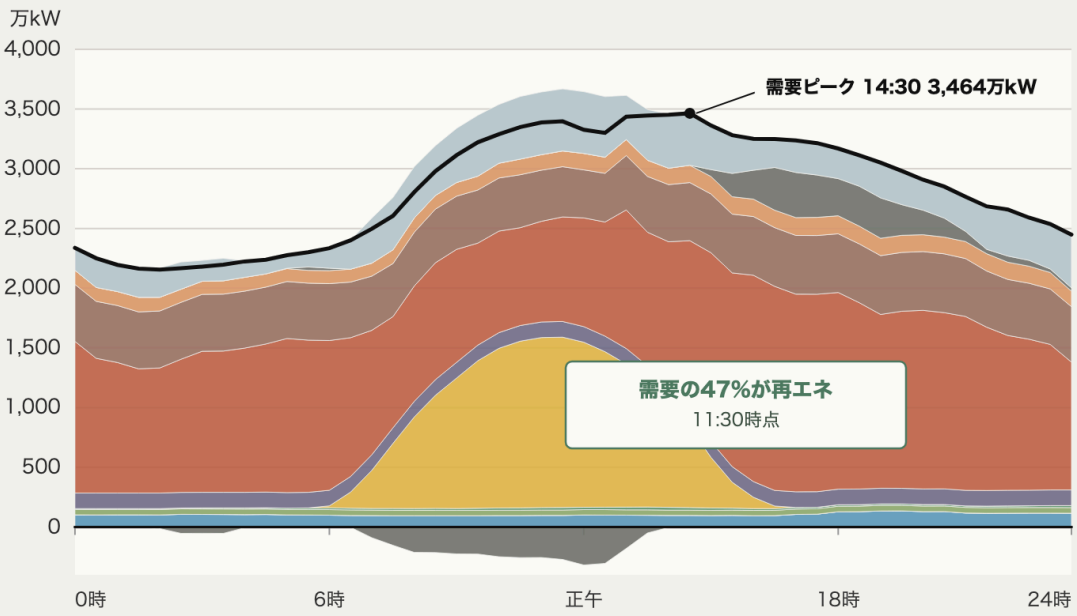
東北は、太陽光ピーク618万kW、風力ピーク158万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.8%だった。

2026年10月16日の供給実績

東京エリア

再エネ
129.3GWh
（発電電力量ベース20.9%）

東京エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 617GWh
（6,173万kWh）

再エネ	**129.3GWh (20.9%)**
太陽光	89.5GWh (14.5%)
水力	25.4GWh (4.1%)
風力	3.4GWh (0.6%)
バイオマス	11.0GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	295.5GWh (47.9%)
石炭火力	112.5GWh (18.2%)
石油等火力	31.0GWh (5.0%)
原子力	31.3GWh (5.1%)
揚水・蓄電	17.6GWh (2.9%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
617.3GWh

需要ピーク
14:30、3,464万kW

連系線・その他
77.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

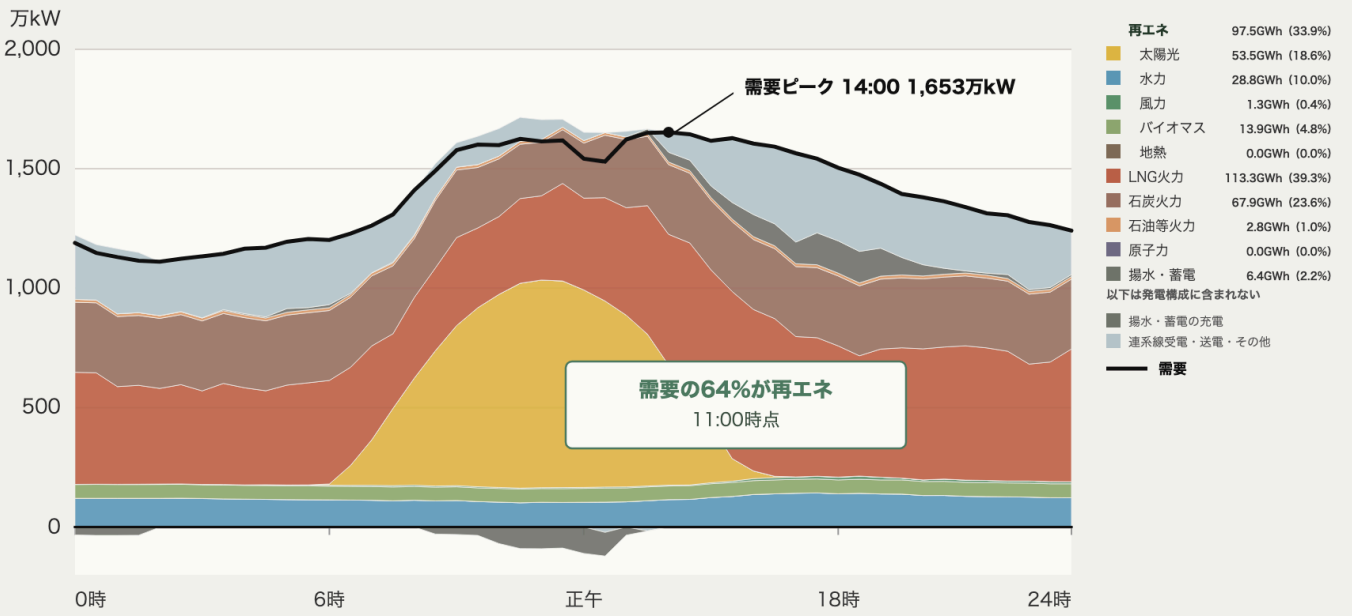
東京は、太陽光ピーク1,427万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.8%だった。

2026年10月16日の供給実績

中部エリア

再エネ
97.5GWh
（発電電力量ベース33.9%）

中部エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
287.9GWh

需要ピーク
14:00、1,653万kW

連系線・その他
50.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

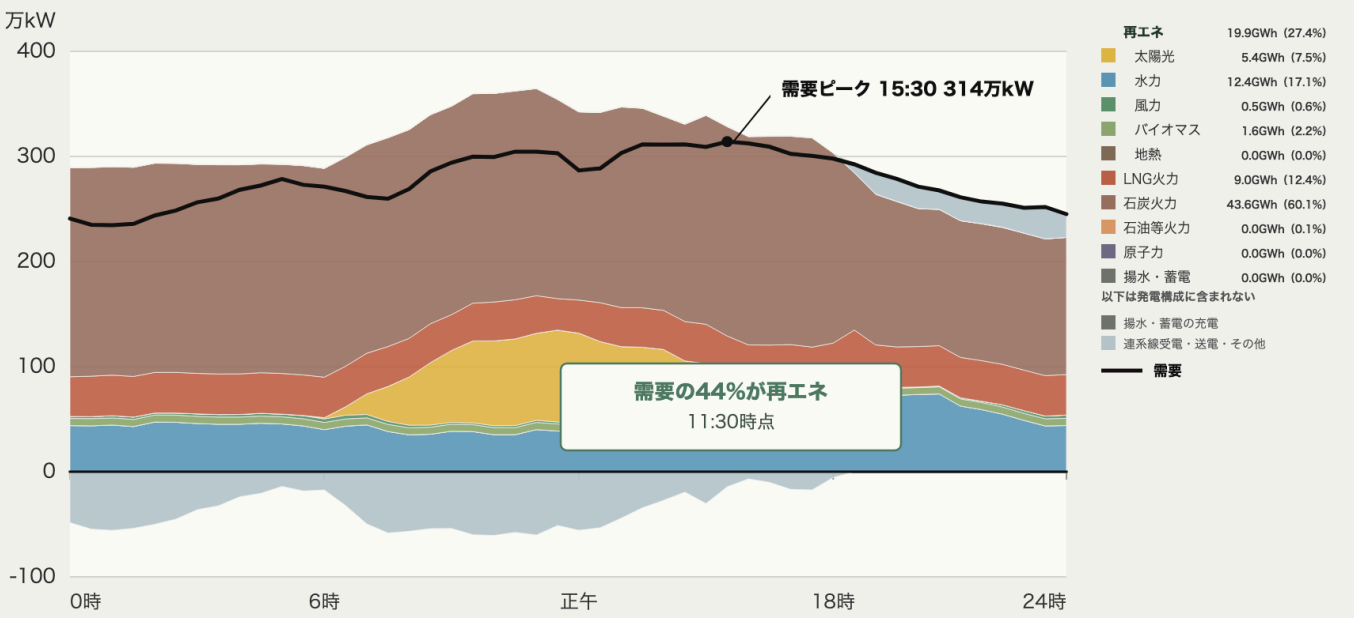
中部は、太陽光ピーク869万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.4%だった。

2026年10月16日の供給実績

北陸エリア

再エネ
19.9GWh
（発電電力量ベース27.4%）

北陸エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
72.6GWh

需要ピーク
15:30、314万kW

連系線・その他
7.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

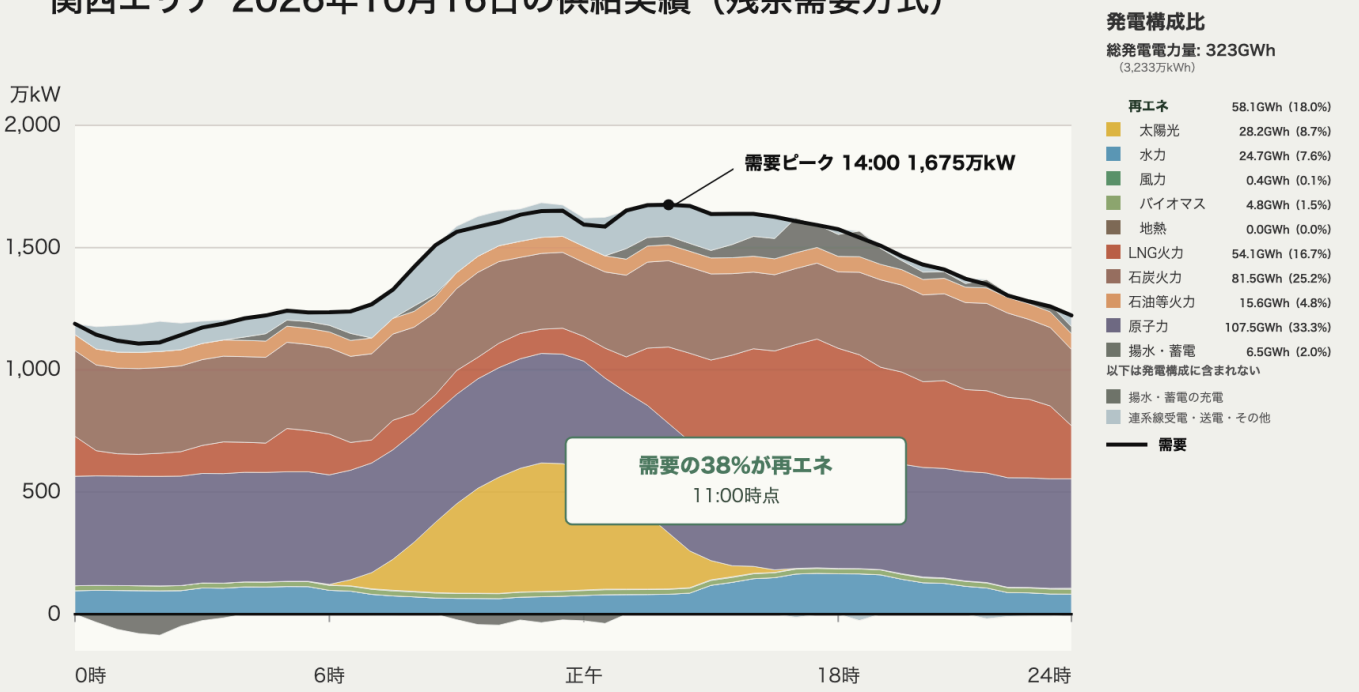
北陸は、太陽光ピーク87万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.0%だった。

2026年10月16日の供給実績

関西エリア

再エネ
58.1GWh
（発電電力量ベース18.0%）

関西エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
323.3GWh

需要ピーク
14:00、1,675万kW

連系線・その他
20.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

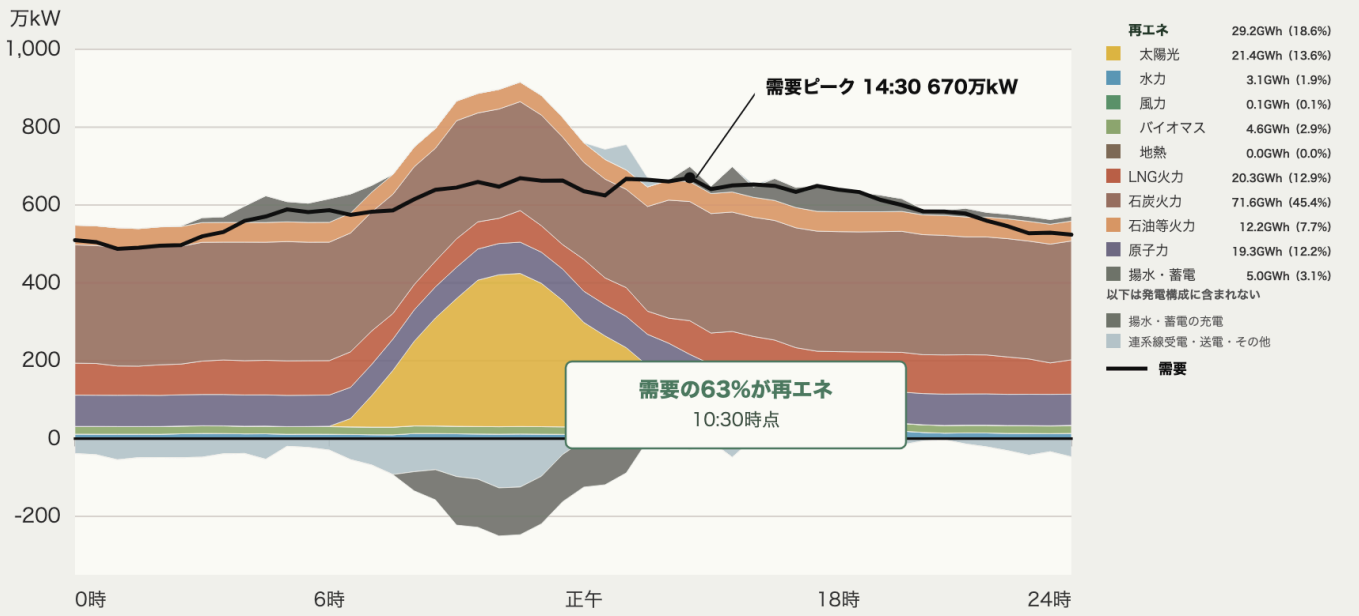
関西は、太陽光ピーク526万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.5%だった。

2026年10月16日の供給実績

中国エリア

再エネ
29.2GWh
（発電電力量ベース18.6%）

中国エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
157.6GWh

需要ピーク
14:30、670万kW

連系線・その他
9.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

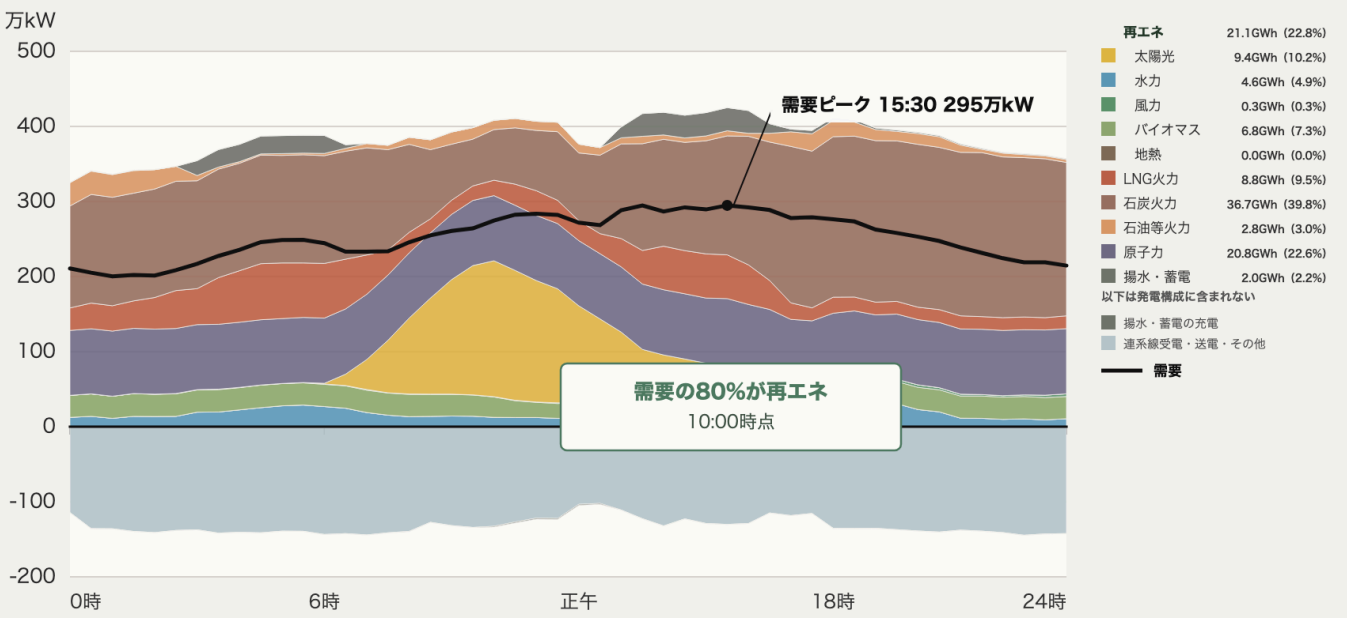
中国は、太陽光ピーク393万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.1%だった。

2026年10月16日の供給実績

四国エリア

再エネ
21.1GWh
（発電電力量ベース22.8%）

四国エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
92.2GWh

需要ピーク
15:30、295万kW

連系線・その他
31.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

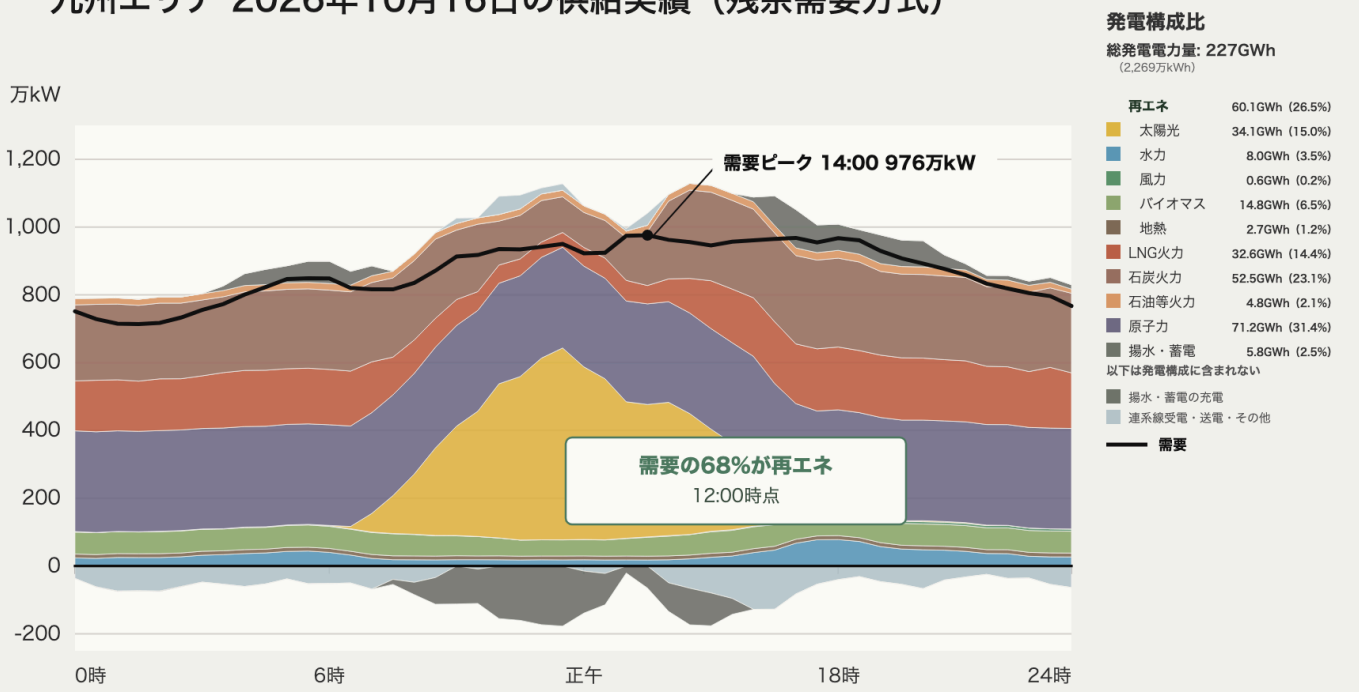
四国は、太陽光ピーク181万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.2%だった。

2026年10月16日の供給実績

九州エリア

再エネ
60.1GWh
（発電電力量ベース26.5%）

九州エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
226.9GWh

需要ピーク
14:00、976万kW

連系線・その他
11.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

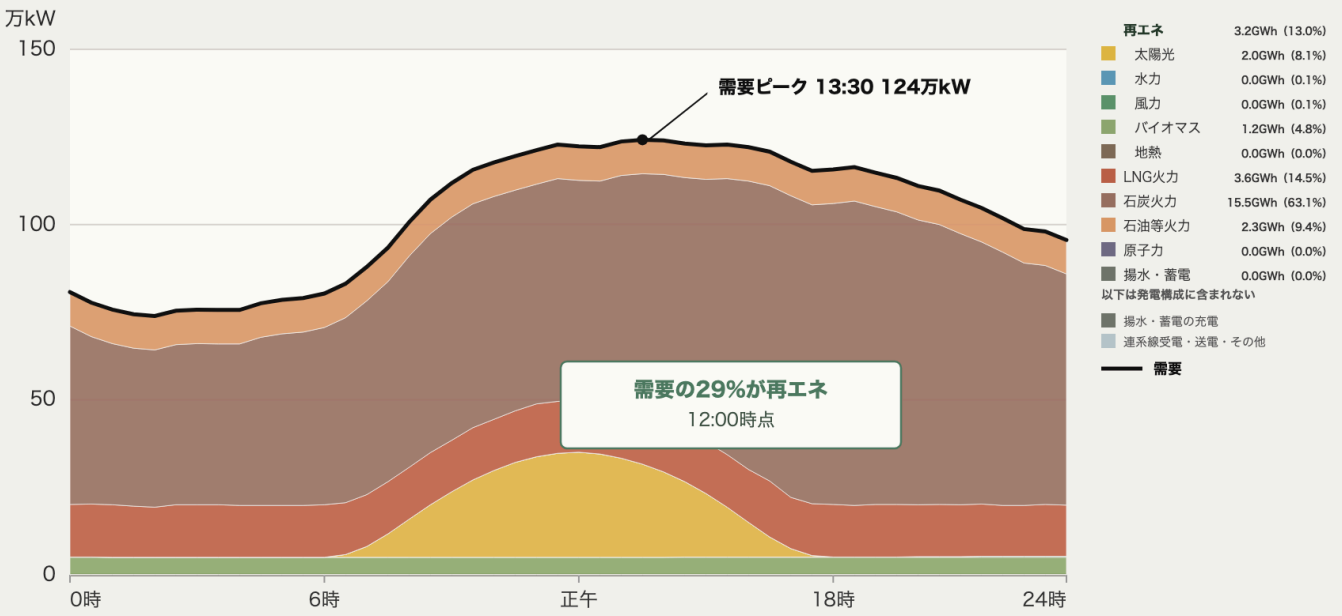
九州は、太陽光ピーク566万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は67.7%だった。

2026年10月16日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.2GWh
（発電電力量ベース13.0%）

沖縄エリア 2026年10月16日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.6GWh

需要ピーク
13:30、124万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.6%だった。